

わらべのきもの

く柄に込められし想い

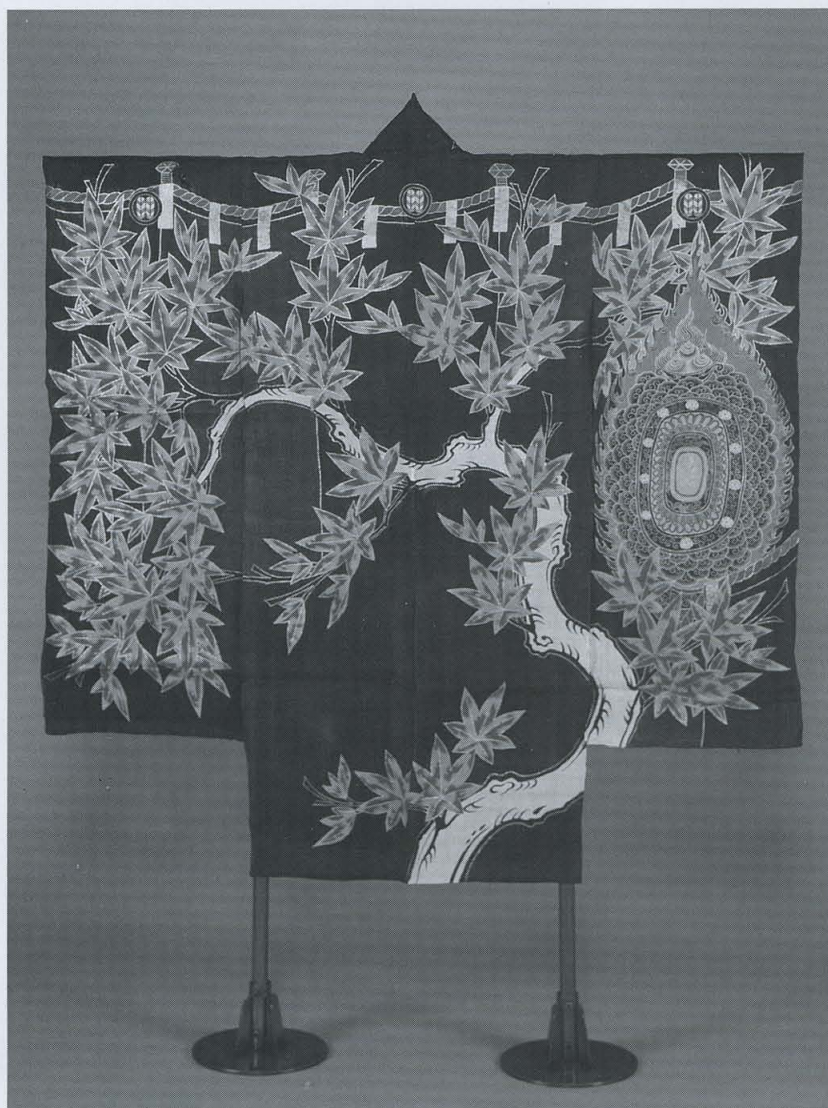
皆さんは子供の着物をゆっくり見ることがあるだろうか。

日本の子供のきものには独自の世界が見られる。

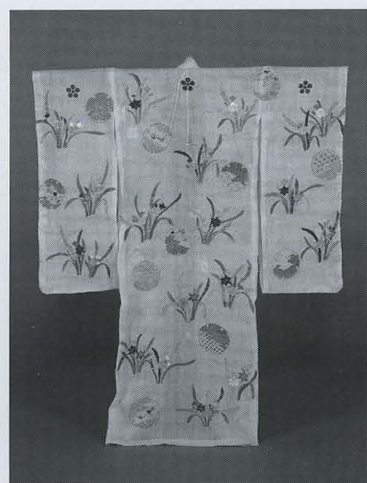
おとなのきものと形は変わらないが、子供のきものの模様には独自の意味が込められている。模様のモチーフとなっている海老や鯛は、現代でも祝い事の際に多く用いられている。近代以前は子供の生存率が低かったため、子供のきもの全体に魔よけや祝い等の縁起の良い模様をあしらひ、わが子の健康と幸せを願った。

昔のわらべのきものに込められた親の子供に対する愛情を感じ取って頂きたい。

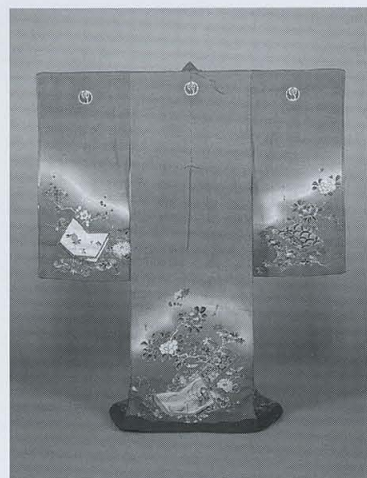
本展観では、産着、子供の祝着、日常着など、当時の子供の生活がうかがえる作品を展示する。



紺麻地紅葉賀模様祝着
江戸時代・18～19世紀



薄黄麻地水仙雪輪模様一つ身
江戸時代・18世紀



茶壁縮緬地牡丹冊子模様一つ身
明治時代・19世紀